

(8) 労働

- 庄内地域の平成22年1月の有効求人倍率は、有効求職者数が平成20年10月以来15ヶ月連続で減少したものの、新規求人の減少により有効求人数が平成19年11月以降27ヶ月連続で前年同月を下回ったため、前年同月を0.10ポイント下回り、0.40倍（鶴岡0.46倍、酒田0.35倍）となった。

【表41】有効求人倍率の推移

単位：倍、ポイント

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年11月	12月	22年1月
庄内	0.75	0.80	0.76	0.78	0.64	0.45	0.41	0.40
	(前年比)					▲0.23P	▲0.21P	▲0.10P
(鶴岡)	0.82	0.86	0.89	0.84	0.71	0.51	0.45	0.46
(酒田)	0.70	0.75	0.66	0.72	0.58	0.40	0.38	0.35
全県	0.89	0.99	1.04	0.91	0.63	0.40	0.38	0.39
	(前年比)					▲0.29P	▲0.21P	▲0.06P

注) 新規学卒を除きパートタイムを含む全数

資料：山形労働局「労働市場月報」